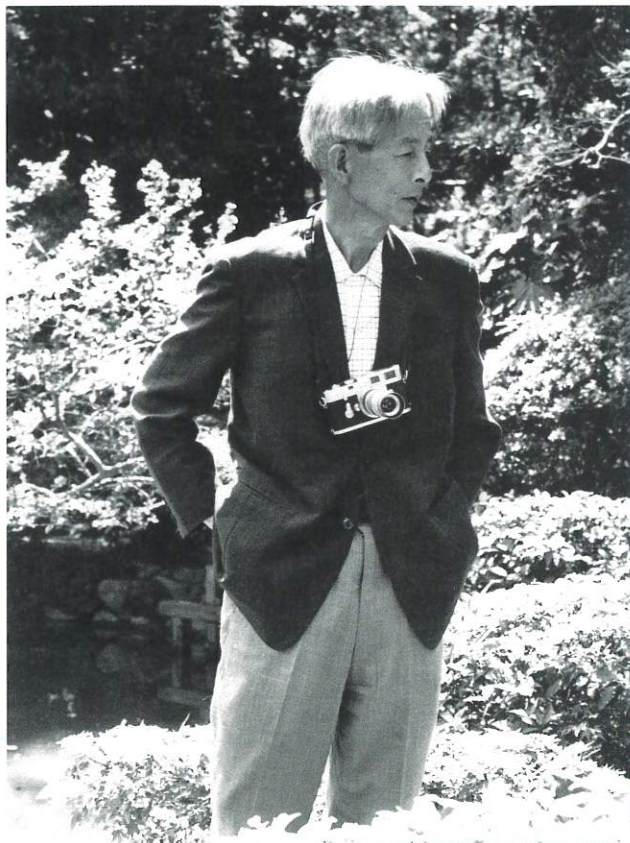


小津安二郎松阪記念館企画展



「小津安二郎『早春』ロケにて」 1955年 ©松竹



「入江泰吉」 1950年代前半

# 小津安二郎と 入江泰吉展



小津安二郎  
青春のまち 松阪

令和4年7月9日(土)~9月25日(日)



## 松阪市立歴史民俗資料館

松阪市立歴史民俗資料館

検索

(2階 小津安二郎松阪記念館)

三重県松阪市殿町1539番地(松坂城跡内) TEL&FAX 0598-23-2381

**入館料** 一般 / 150円・6歳以上18歳以下 / 70円

**アクセス**

電車：近鉄 / JR 松阪駅下車徒歩約15分

**開館時間** 9:00~16:30

お車：松阪ICより約10分

**休館日** 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日

市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により、予告なく会期の変更又は休館する場合があります。

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。



入江泰吉「小津安二郎と小原譲治『宗方姉妹』ロケにて」1950年



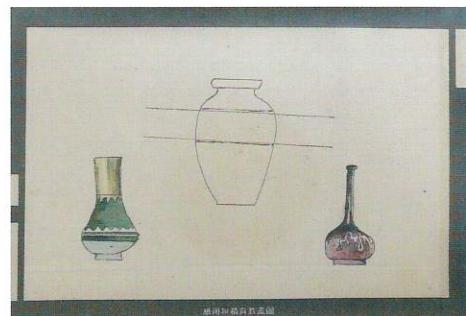
入江泰吉「興福寺を望む」1951年



入江泰吉「飛鳥の里 耳成山麓」1959年5月



「小津安二郎 水彩画とデッサン」1914年頃



厳格な手法を用いて家庭を描いた映画監督 小津安二郎 (1903 ~ 1963) と、生涯にわたり大和路を撮影した写真家 入江泰吉 (1905 ~ 1992)。小津の代表作『麥秋』の奈良ロケーション撮影に際し、小津は入江を訪ねており、2人の作品を並べてみると、入江の大和路に対する感性と小津映画には親和性があったことがうかがえます。

小津が奈良に最も接近した1950年・51年は、『東京物語』へ続く、小津映画の頂点を形成する年であり、また、青春時代を過ごした松阪を脚本家 野田高梧とともに訪れた年でもありました。

本企画展では入江泰吉の写真を中心に、映画監督 小津安二郎に影響を与えた松阪・伊勢での少年時代の関連資料もあわせて紹介します。

